



ワクワク交流たのしかったよ!

地域青少年国際交流セミナー開かれる

昨年の11月に新津市近隣在住の中高生、そして12月には小学生を対象にした世界の人々との交流会がありました。新津市教育委員会を中心とする近隣の国際交流協会6団体（新津、白根、亀田、五泉、横越、AFS）が横のネットワークを生かして企画協力した初めての手作り広域国際交流事業でした。

11月11日(土)には新津市保健福祉センターで日本人中高生約50名、世界11か国から23名の参加者で賑わいました。まず、午前中には自己紹介ゲームなどでリラックスしたあと班に別れて「世界の料理作り」にチャレンジしました。他の市町村の仲間たちだけでなく、言葉や肌の色の違う世界の仲間と「見たこともない香辛料や味付けの料理」や「日本でも馴染みの料理」を協力しあって作ることは「難しい世界の講義を聞くよりもずっと有意義な勉強」になりました。ランチタイムにはおいしいような料理がたくさん並びどれから食べようか迷いました。カナダのラザーニヤ、アメリカのパスタ、タコス、韓国のカムチ鍋、お好み焼き、インドネシアのサテ焼き鳥、鳥肉卵スープ、ブラジルの肉入りコシニアコロッケ、中国の水ギョウザ、参加費500円でこんなに食べちゃっていいのという感じでした。午後からは「頭の交流」ということでグループに分かれて個人の価値観を考え、ディスカッションしました。健康、夢、遊び、家族、友人、勉強、ボランティア。あなたの人生で大切なものは何ですか？生まれた国も思想も違う人間が集まると、こんなにもいろんな考え方があるのかと感心しました。やはりにながなくても健康第一という人、不健康でも夢があれば生きられる人。家族と友人は分けられない。友人は引越すれば変わるけど家族は一生変わらない。



風つくりって、おもしろいね。

中国の孔子の教えでは勉強がなにより大事だ。遊びがなければ人生闇だ、など。結果としては「国籍にかかわらず、人間は皆平等、同じとは言っても実は考えていることは全然違う。」だから「皆を同じ方法で満足させることはとても困難だ。」「同じように見えても実は全く違うのは仕方がないことだ。」ということがわかりました。だからこそお互いのことを良く分かり合うためにこの様な交流が有意義なのだということがわかった。

12月3日(日)には新津市民会館にて小学生(4年生以上)110名、外国人20名の参加で元気一杯に行われました。小学生が楽しく自然に外国の人、文化、生活、遊びに触れ合えるためにはどうしたらよいだろうかという思いから、新津に居ながらの模擬世界旅行体験ができるツアーをしようという決定。「レインボー旅行社」が設立されました。広いホールはアジア、北米、オーストラリア・ニュージーランドそしてヨーロッパの4つの大陸に分けられ、それぞれに各国代表の親善大使が待ち受けており、そこでアイデアたっぷりのゲームやクイズを楽しむという内容です。色分けされたグループは各自パスポートを持ちツアーガイドの号令に従って順序よく4大陸を回りました。お昼は世界の料理が入ったお弁当に感動し、いつも食べているこれは実はあの国の料理だったんだ、などと感心していました。そして午後からは白根市にバス移動し、「大風の館」で日本や世界の風を見学、風作りも頑張りました。「ただ世界のことを知るのでなく、もっと自分の国、日本も知る」ということは今回の世界一周のなかで大切な意味を持っていた。日本文化の素晴らしさも再確認してもらいたかったのです。このような素肌で感じる交流をすこしでも多くの子供達に体験してもらいたいと思います。



「ほら、こんなにいいのがきたよ!」

ホストファミリーの声

(地域青少年国際交流に参加した AFS の外国人高校留学生を受け入れたご家庭の感想の抜粋です。)

はじめての受入れでしたが、日頃話題の少ない祖父母も異文化圏の少女のお陰で話題も増え、思い出したように、「元気してるかねえ」と話しています。日本にいと日本での生活や日本人だけであることが当たり前と感じられてしまいましたが、目の色も髪の色も違う少女の滞りで家族一人一人の国外への関心が深まったように思います。日本が一番だと言い張っていた父も、今では彼女が帰ってしまったことを一番淋しく思っているようです。本を読んだり話を聞いたりして理解を深めるのもよいですが、いろんな人と肌でふれあい、意見を交換することの大切さを痛感し



私のパスポートにもサインブリーズ



フランス語のあいさつは ポンジュール だよ

ました。これから多くの人にこの貴重な経験のチャンスを与えてくださいね。

(新栄町 中林香織さん)

はじめての体験で期待と不安で迎えた高校生のヘニー、話をするうちに見事に家族の一員としてうちとけ、皆も受け入れてくれたのにほっとしました。新しく飛び込んできた娘と家族が普段となんら変わりなく生活し会話できたことに感謝します。あまりにも楽しかったので当分は彼女の話ができそうにありません。また来てくれるとの約束をしこれからも付き合いたいことを喜んでます。

(大鹿 関口百合江さん)

ジャクソン君を受け入れて家族一同楽しかったです。彼は日本語はもちろん、日本の食事マナーや習慣を身に付けており、私たちも考えさせられることが多くありました。これからもいろんな人々との出会いを望みます。

(柄目木 大湊増栄さん)

あなたも気軽にホームステイを!!

外国人を家に迎えるとき、一番問題になるのは住宅事情と言葉の問題だと思います。でも、そう考えているほど難しいものでもないですよ。

① 家が狭くてもホームステイはできます。

「うさぎ小屋」と我が家を恥じる必要はまったくありません。また洋式トイレや寝室、シャワーなどの外国人向けの設備も必要ありません。訪問者は日本の生活に興味を持ってくださるのですから毎日の普通の生活を一緒に過ごすことが大切なのです。

② 英語ができなくてもホームステイはできます。

訪問者は日本に興味を持ってやってきていますので多少は日本語が理解できることもあります。また、日本語を覚えようという意欲を持っていますから、ジェスチャーを交えて話をすれば十分意思は伝わるのです。わざわざ英語のできる知人を選んでくる例もありますが、病気になったなどの緊急事態以外はホームステイに通訳は必要ありません。ようするに一番に必要なのは訪問者を暖かく迎えようとする「開かれた心」なのです。

③ 事前の情報交換は大切です。

そうはいっても生活環境や文化の異なる人を受け入れるのですから無用なトラブルを避けて楽しむためにもある程度の準備や配慮は必要です。訪問者はどのような人なのか、少なくとも国籍、性別、年齢、言葉、来日の目的などは確認しておくべきでしょう。特に宗教の関係で口にできない飲食物があつたり、タバコやペットを嫌う人もいますので事前に確認しておくのが良いでしょう。(イスラム教:豚肉・アルコール、ヒンズー教:牛肉など 個人差もあるので注意。)



福丸福質舗

どうぞお気軽にご相談下さい。

新津市本町2-14-2

電話 (0250) 23-0331

住まいに関することは何でもご相談ください。



伊シカワ 株式会社
・本社 新津市大森738-1
☎0250-22-2000
・新潟営業所 新津市南橋口1丁目1-58
☎025-243-2585

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL 24-5122



FMにいつ
好評放送中

アナタからのリクエスト・メッセージお待ち中。
☎0250(23)5100 FAX(23)5800